

①団体の概要

- 所在地:鹿児島県志布志市有明町野井倉
- 団体名:JAあおぞら(あおぞら農業協同組合)
- 組合員数:2,275人(准組合員を含む(令和元年8月末現在))

②目的

- スマート農業機器の普及・活用による農家の所得向上及び労力負担の軽減

③スマート農業実現に向けた取組

スマート農業担当の専門職員を配置し、スマート農業に関する情報提供・相談対応及びスマート農業機器の設置と効果的な運用に対するサポートの実施

(1) 畜産部門

- ①発情発見装置
- ②分娩監視装置(技術員と農家の意見を取り入れ独自製品を試作中)

【分娩監視装置(試作機)の特徴】

- ☆独自開発した製品のため、既存製品よりも大幅に安価
- ☆インターネット回線に接続して、スマートフォンで容易に遠隔操作が可能
- ☆半球形で、水平方向に350度、垂直方向に90度動き、赤外線LED対応で光学3倍ズーム搭載

(2) 園芸部門

ハウス内環境モニタリング装置

④期待する効果

(1) 畜産部門

- ①低価格化による機器の普及・推進
- ②保守・管理費用の低減
- ③分娩間隔短縮による出荷頭数の増加
- ④分娩監視業務の大幅な軽減
- ⑤事故率の低減
- ⑥生産性及び収益性の向上

(2) 園芸部門

- ①ハウス内環境のデータの見える化による最適化した生育環境の構築
- ②肥料及び農薬の減量化
- ③生産性の向上
- ④単収増加による収益性の向上

⑤課題・今後の展望

◇ 課題

- ①高齢農家に対する普及
- ②専門職員が1人に対応しており、分娩監視装置の製造が注文に追いつかないため、製造体制の強化

◇ 今後の展望

- ①取組状況や成果を踏まえ、更なるスマート農業の推進・普及を目指す
- ②第5世代移動通信システム(5G)の整備・導入により、情報量や通信速度等、情報技術の向上に期待



分娩監視装置(試作機)



分娩監視装置から見た牛舎の映像